



肝臓病

最新の話

肝臓は沈黙の臓器といわれ、自覚症状がなく気がついた時には進行していることがあります。肝臓病のなかでも多くみられる脂肪肝とB型、C型肝炎などのウイルス性肝炎の最新の話についてお知らせします。
また、今年4月から、ウイルス性肝炎の医療費助成が受けやすくなりました。肝硬変の患者さんが身体障害者として認定されるようになりました。

高柳クリニック 肝臓専門医 高柳 安紀 院長

沈黙の臓器『肝臓』

肝臓病は進行してはじめて症状が出てくる
ことが多く、肝臓は沈黙の臓器といわれてい
ます。肝臓病には急性肝炎、慢性肝炎、肝硬
変、肝癌などがあり、原因もB型、C型など
の肝炎ウイルスによるもの、免疫異常、代謝
性、薬剤性、アルコール性などさまざまです。
健診などで肝機能異常を指摘されたら、精密
検査を受けて肝機能異常の原因の診断と治療
を行ってください。

脂肪肝について

それでは健診などで見つかることが多い脂
肪肝についての最新の話です。脂肪肝の原
因はアルコールによるもの、肥満、糖尿病、
高脂血症に伴うものと様々です。以前からア
ルコール性でなければ脂肪肝から肝硬変には
進行しないとされてきましたが、最近では
お酒を飲まなくても肝硬変、肝癌に進行する
ものがあることがわかってきました。このよ
うな脂肪肝は非アルコール性脂肪肝炎（NA
FLD）といいます。治療は生活習慣の改善や
肝臓の炎症を抑える薬を使います。健診で脂
肪肝だと言われても、肝機能異常がひどく、
肥満やメタボリックシンドロームを伴う場合
は非アルコール性脂肪肝炎である可能性が高
いと思われます。放置せず、ぜひ精密検査を
受けてください。

ウイルス性肝炎について

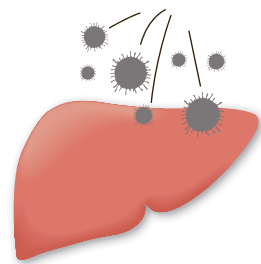
次はウイルス性肝炎について最新の話で
す。B型、C型肝炎などのウイルス性肝炎患
者は国内で300万人に達すると推定され、
放置すれば肝硬変に進展し肝癌も発症する
ことが知られています。現在、主な治療方法
はインターフェロン注射や抗ウイルス薬の錠
剤などの抗ウイルス療法と肝臓の炎症を抑え
る対症療法である肝庇護療法に分かれます。
インターフェロン治療を行うには条件があ

り、この条件か
らはずれてしま
う方やインター
フェロンや抗ウ
イルス薬の治療
を希望されない
方が肝庇護療法
を行います。

B型肝炎では

35歳未満の患者さんには主にインターフェロ
ン治療、35歳以上では抗ウイルス剤の内服や
インターフェロン治療を行います。C型肝炎
ではインターフェロン治療が主となり、抗ウ
イルス剤を併用する場合があります。抗ウイ
ルス療法はウイルスのタイプや量を調べてイ
ンターフェロン単独治療か、抗ウイルス剤を
併用するかどうかを診断します。現在の最強
の治療はペグインターフェロン（週1回注射）
と抗ウイルス剤内服の併用療法で、C型肝炎
の治療率は、治りやすいタイプでは80〜90%
まで改善しました。それでも効果のない場合
は、今後2〜3年以内に発売される新薬によ
り高い治療効果が得られるようになると言わ
れています。インターフェロンは副作用が問
題視されていますが、ペグインターフェロン
の副作用は以前よりは改善されており、副作
用を早期に発見することにより治療を中断す
ることなく対処することもできるようになっ
ています。

また、C型肝炎や非アルコ
ル性脂肪肝の方は肝臓に鉄分
が沈着し炎症を悪化させます。
その為C型肝炎の患者さんには
鉄制限食や瀉血療法といった治
療が行われ、効果がでていま
す。また、一般的に肝臓によいと言
われているウコンやしじみ、レ
バーなどには鉄分が多く含まれ
ています。C型肝炎の方はこの
ような鉄分を多く含む食品を食
べるとかえって肝炎を悪化させ
ることもあるので注意が必要で



治療費と助成金

す。B型肝炎の方は鉄分の沈着は少ないので
問題はないようです。

ウイルス性肝炎の抗ウイルス療法は高額な
治療なので保健所に申請すれば医療費の助成
を受けられます。今年の4月から肝炎対策基
本法が施行され、B型、C型肝炎の患者さん
の医療費助成金が以前より多く出るようにな
りました（表1）。

治療をしようと
考えているかた
は、ぜひこの機
会に抗ウイルス
療法を行うこと
をお勧めします。
また、重症の肝
硬変の患者さん
は身体障害者と
して認定される
ようになりまし
た。身体障害者
認定の対象にな
るかどうかは長
野県の厚生相談
室または市役所
肝臓専門医など
に相談ください。

表1

抗ウイルス療法を受ける場合の自己負担額		
階層区分	患者さんの自己負担(月額)	
65,000円未満	H22.3月以前	H22.4月以降
	10,000円	10,000円
65,000円以上235,000円未満	30,000円	
235,000円以上	50,000円	20,000円

対象患者および対象患者と同一の世帯に属する全てのものの当該年度の市町村民税(所得税)年額の合算額